

本 攪 寺 杼 貝 (82), 2017

和歌山県のとある川の巻貝類

久保田 信

Shin Kubota: Snails from a given river in Wakayama
Prefecture, Japan

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459

京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所

和歌山県のとある河川を以前から何度も訪問しているが、
2017年7月19日にこの川の河口付近で貝類相を再び調べて
みたところ、巻貝類の少なくとも2種（イシマキガイ
Clithon retropictum とフネアマガイ *Septaria porcellana*）
を発見したので（図1）、今回、記録する。

和歌山県下の各所にも生息するイシマキガイは、幼生が
海洋で育つことでよく知られる。イシマキガイはほとんど
が生体だったが、全個体とも殻頂が欠けていた。一方、我
が国では紀伊半島が北限とされるフネアマガイは、大半が
既に死殻となっていた。それらの殻表の三角模様には多少
の変異が見られた。なお、2種とも水槽の苔取り要員とし
て重宝されている。

末筆ながら、今回の報告で川の名前などを伏したのは、稀少種のフネアマガイの個体数が極めて少数であるので、乱獲からの回避を願っての処置である。



図 2. 和歌山県のとある河川に生息するイシマキガイ
Clithon retropictum とフネアマガイ
Septaria porcellana.

引用文献

奥谷 喬司 編著．2017．日本近海産貝類図鑑第二版 東海大学出版，神奈川県．